

第 58 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

パブリックヘルスと薬剤師

日時：2024年7月6日(土) 14:30～18:00

会場：大阪大谷大学 博物館 2F (11-201教室) ★ハイブリッド開催

参加費：500円 (学生は無料)

★現地参加者は当日受付にてオンライン参加者は事前振込にてお支払いください。

●プログラム

14:30～ 開会挨拶 薬学部長 西中 徹 教授

□講演 1 多様化が進む地域社会と薬剤師

～ OMOTENASHI Project の紹介 ～

和歌山県立医科大学 薬学部

社会・薬局薬学研究室 助教 鈴木 渉太 先生

休憩

□講演 2 地域から発信する「ケーススタディ」

～放射線防護策としての安定ヨウ素剤の実装をふまえて～

京都大学大学院医学研究科

健康情報学分野 助教 西川 佳孝 先生

●本学術交流会の生涯研修認定単位は、日本薬剤師研修センター認定対象集合研修会として申請中です。
(日本薬剤師研修単位の交付は PECS(薬剤師研修・認定電子システム)を用いて行います。交付希望の先生方は事前に PECS への登録をよろしくお願いいたします。)

●参加登録方法 下記の申し込み専用サイトから氏名(フリガナ)、ご所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望の研修名等をご記入ください。(収集いたしました参加者の連絡先情報は本学薬学部にて厳重に管理し、本交流会の連絡ならびに今後の開催案内等に使用させていただきます。)

申し込み締め切りは、**6月27日(木)**

申し込みサイト(右のQRコードからもお申込できます)

<https://forms.gle/NAopvXTzVxCzoqrDA>



●会場までのアクセス

最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅 (滝谷不動駅から大阪大谷大学まで、約 500 m)

◎近鉄電車をご利用になる場合：大阪阿倍野橋駅(JR 天王寺駅に隣接)から準急河内長野行きに乗りし滝谷不動駅へ(約 35 分)
または急行に乗りして古市駅で河内長野行きに乗り換え。

◎南海電車をご利用になる場合：南海高野線で河内長野駅へ行き、近鉄長野線に乗り換え滝谷不動駅へ(約 36 分)

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp

第 58 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

薬剤師とパブリックヘルス

●講演要旨

□講演 1 多様化が進む地域社会と薬剤師

～ OMOTENASHI Project の紹介 ～

和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室

助教 鈴木 渉太 先生

社会の多様化に伴い、薬剤師が地域で接する患者や住民の多様性も増しており、その対応が急務である。

本講演では、特に急速に変化を続ける地域の外国人に焦点を当てる。日本に滞在する外国人は、短期の訪日客と中長期の在留者に大別される。演者が2016年から取り組む OMOTENASHI プロジェクト (Original MethOd at pharmacy To ENhAnce Support for Health Improvement) を紹介するとともに、多様化が進む地域社会においてこれからの薬剤師が果たすべき役割について論じる。

□講演 2 地域から発信する「ケーススタディ」

～放射線防護策としての安定ヨウ素剤の実装をふまえて～

京都大学大学院医学研究科 健康情報学分野

助教 西川 佳孝 先生

本講演では、薬剤師が現場において課題を発見し、解決策を見出す際に有用な事例研究法（ケーススタディ）について概説する。ケースレポートは特定の患者や生活者を対象とする一方、ケーススタディは施設や地域、出来事などの事例に着目して、未来への教訓を得る手法である。

医療者として地域の生活者を守るためのケーススタディの例として、福島県における放射線防護策（安定ヨウ素剤）の実施状況を取り上げ、参加者にも一緒に考えていただく。このほか、いくつかのケースを取り上げる。

薬剤師の地域診療においては、「患者」のみならず、病を抱えない「生活者」との対話も重要である。本講演では、Patient and Public Involvement（患者・市民参画）をふまえた、これからの臨床とパブリックヘルスにおける事例研究の在り方について考察する。

●日本薬剤師研修センター研修単位の扱いについて

研修会申込時、薬剤師免許登録番号などをお間違いないように入力ください。入力いただいたデータを日本薬剤師研修センターへ提出させていただきます。研修会開始時間までに必ず入室してください。講演会視聴後、視聴者の入・退室時間を電子的に記録いたします。Zoomによる参加者につきまして、これまでのようにキーワードはありませんが、途中通信が途切れるなど不可抗力によりZoom接続が切断された場合は単位が付与されません。また、接続は必ず、一人につき1台の端末から視聴して下さい。Zoomでの参加者の名前は先生方のフルネームに変更願います。お名前の確認ができない場合や視聴時間が足りない場合も研修単位は付与されません。ログにて要件を満たした方には研修単位2単位が付与される予定です。

●オンライン受講の参加費(500円)について

下記に示した振込用紙記入例を参考に、指定の口座へお振込みください。なお、誠に恐縮ですが手数料は各自ご負担願います。お振込み確認後、講演会2日前を目安にZoomのURL、ID、PWを申し込み時に入力いただきましたメールにお送りいたします。

お振込み先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-8-279430 加入者名 大阪大谷大学

○振込用紙の通信欄には必ず「第58回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会の参加費として」および「参加者氏名」をご記入ください。ご記入がない場合、事務局で振り込みの確認が遅れる原因となりますのでご協力をお願いいたします。

○振込手数料節約のために1枚の振込用紙にて複数の参加者の参加費を振り込んでいただくことも可能ですが、その場合、必ず通信欄に何名分もおよび参加者全員の氏名をご記入ください。

○お振り込みいただいた参加費につきましては、欠席の場合にも原則ご返金できませんので、ご了承ください。

○お振込みは6月27日(木)までに完了いただきますようご協力ください。

●振込用紙記入例

00	大阪	払 込 取 扱 票	
口 座 記 号 番 号		金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 0 9 7 0	8	2 7 9 4 3 0	¥500
加入者名	大阪大谷大学		料 金
通 信 欄	第58回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会参加費 参加者: 大谷 太郎		
ご依頼人	おとこ (郵便番号 584 - 0066) 富田林市錦織北 3 - 11		日 附 印
おなまえ	大谷 太郎		料 金
		(電話番号 0721 - 24 0381)	備 考
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号大第41860号) これより下部には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 9 7 0 - 8
加入者名	大阪大谷大学
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥500
おなまえ	大谷 太郎
ご依頼人	様
料 金	(消費税込) 日 附 印
備 考	円

この受領証は、大切に保管してください。

必ず通信欄にご記入下さい。

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3 - 11 - 1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp